



平成 27 年 4 月 24 日

各 位

会社名 セメダイン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岩 切 浩
 (コード番号 4999 東証第 2 部)
 問合せ先 管理部長 長 谷 川 喜 久
 (TEL 03-6421-7412)

特別利益、特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月期連結会計年度において、下記のとおり特別利益、特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。当該事項及び最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 10 月 31 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのであわせてお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

当社及び一部の連結子会社が加入する複数事業主制度の「東京文具工業厚生年金基金」は、平成 27 年 3 月 31 日に解散申請を行いました。申請にあたり国との記録突合をした結果、同基金の年金資産が最低責任準備金を上回ることとなり、当社を含む加入事業主からの追加拠出が不要となる見込みであるため、平成 25 年 3 月期に引当計上していた厚生年金基金解散損失引当金を全額戻入処理いたします。これに伴い、厚生年金基金解散損失引当金戻入額（連結）470 百万円、（個別）410 百万円を特別利益として計上いたします。

2. 特別損失の計上について

(1) 減損損失(連結)、繰延資産償却費(連結)並びに事業構造改善引当金繰入額(連結)の計上について
 当社の連結子会社である CEMEDINE AUTOMOTIVE NORTH AMERICA CO.,LTD.について、収益性の低下など減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、同社の固定資産について減損処理を行うこととし、減損損失 93 百万円を特別損失に計上いたします。さらに、繰延資産の一時償却を行い、繰延資産償却費 125 百万円を特別損失に計上するほか、構造改善のために発生すると見込まれる額を合理的に見積り、事業構造改善引当金繰入額 163 百万円を特別損失として計上いたします。

(2) 子会社株式評価損(個別)の計上について

当社の連結子会社であるセメダインオートモーティブ株式会社の株式の実質価額が著しく下落したため、子会社株式評価損 447 百万円を特別損失に計上いたします。

なお、当該子会社株式評価損については、連結決算においては相殺消去されるため、連結決算での計上はありません。

3. 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

(単位：百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	26,200	780	780	450	30 円 38 銭
今回修正予想 (B)	25,937	615	752	267	18 円 08 銭
増減額 (B) - (A)	△263	△165	△28	△183	
増減率 (%)	△1.0	△21.2	△3.6	△40.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	25,771	980	994	775	52 円 89 銭

4. 修正の理由

平成 27 年 3 月期連結会計年度の業績につきましては、売上高が前回予想を若干下回ったことから、営業利益は前回予想を下回る見通しとなりました。しかしながら、経常利益は為替差益の発生により営業外収益が増加したこと等から概ね想定の範囲内となりました。さらに、上記の特別利益、特別損失を計上し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討したことから税金費用が増加し、また、法人税率の変更により繰延税金資産の取崩も発生することから、当期純利益は前回予想の見込みを下回る見通しであります。

(参考) 前期の個別業績実績の概要

(単位：百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益
(ご参考) 前期の個別業績実績 (平成 26 年 3 月期)	21,436	701	784	556

※ 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上